

学校保健委員会

令和元年12月5日(木)

参加者

学校医 道下秀信先生 学校歯科医 中浜 毅先生、学校薬剤師 日吉芳弥先生
学校職員 藪下教頭、端野(高)、山下(中)、松盛(小)、池田(養教)

I 話題提供 及び 協議

①インフルエンザ状況

- 11月22日(金) 中学部1名欠席
 - 25日(月) 小学部1名早退、中学部6名欠席・1名早退、高等部1名欠席
 - 26日(火) 以降 新たな感染なし
 - 12月 2日(月) インフルエンザによる欠席0名
 - 12月11日(水) 小学部1名欠席
 - 12日(木) 小学部1名早退
 - 13日(金) 小学部4名欠席
- 予防接種状況 児童生徒 44.4%
職員 ほぼ100%(接種予定含む)

②歯科保健指導

7月中、各学部に、染め出しとブラッシング指導を実施
給食の献立説明の際に、「よくかむこと」の指導

③事前質問

・以前、ニュースで群馬大学が研究した「てんかん発作を引き起こすタンパク質(TRPV4)の異常活性化が原因」と発表されたが、今後は医療現場でも導入されていくのか。

脳内の電線が1本ショートして、ボツとしたときに発作が起きる。その時熱が出て、二次的なものとしてTRPV4が増えるということ。
研究段階なので、臨床には即していない。
てんかんの原因やパターンはさまざまあり、主治医と相談しながら進めていくこと。

・スマホやタブレットの長時間使用でスマホ老眼になるということだが、日々どのようなことに気をつけたらよいか。

長時間の使用を控える。
画面を30cm離して、適宜休憩を入れること。
ビタミンB1、B6、B12、ビタミンEを摂ることが効果的

・インフルエンザの予防接種をしても、インフルエンザにかかってしまう人がいますが、その場合どのような症状になりますか。周りの人への感染力もありますか。

予防接種を受けていてもかかるが、症状が軽くなるとは言われている。
2回接種していてもかかった人はいる、今シーズンは流行が早かったので受けていてもかかる人が多いかもしれない。
感染力は、重症も軽症もかわりない。
冬休み明けにはB型が流行することも考えられるので、予防接種を受けてほしい。

・インフルエンザによる症状と思い受診しても陽性反応が出なかったが、あとで高熱（39℃以上）が出た場合は、インフルエンザとみなしてもよいか。

周りの状況から判断してもよい。
治療薬は数種類あるのでどれを使うか、試験などでどうしてもかかってはいけない場合の予防投薬については、主治医と相談すればよい。

・インフルエンザによる学級閉鎖や学年閉鎖の基準があれば教えてほしい。

厳密な数値があるわけではないが、約2割くらいといわれている。しかし、奥能登は少人数クラスがほとんどなので、欠席人数やかぜ症状のある登校者数などで判断すればよい。

・歯みがきが難しい子のむし歯予防策があれば教えてほしい。

食事や間食の後には、口腔内のpHが下がり、虫歯になりやすいので、規則正しい食生活とダラダラとおやつを食べないように注意してほしい。
フッ素入り歯みがき剤は、みがいた後のゆすぎは軽く1回でよい。
食後のお茶には、天然のフッ素があるのでおすすめです。
お茶やコーヒーを、氷だし（水だし）にするとカフェインが減る。カテキンやフッ素は変わらないのでおすすめです。
歯ブラシの紹介（育友会実行委員会会場に置いておきます）

・社会人になって来院した障害を持つ方の対応で（診察）で、困った経験を教えてほしい。

（自己表現や礼儀、自己管理の仕方等、学校教育で指導できることがあったら取り組みたい）

途中から開業医に来るケースはほとんどない。
かかりつけ医として付き合う場合も、家族の付き添いがあったり関係ができていることが多く、困った経験はあまりない。
顔を見てゆっくり丁寧にしゃべること、基本的なことを指導してもらえたらよいと思う。